学校番号	２０１

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	2	教科書：BLUE MARBLE English Communication Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業は、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。しっかり、インプット（「聞く」「読む」）して、アウトプット（「話す」「書く」）をするよう心がけてください。
・英語の語彙、文法、文構造について、しっかりと意識しながら英文を理解しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	◇◆日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	◇300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ◇簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など)することができる。	◆◇身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	◆自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じてより適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用してより適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解をより深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法

1学期	Lesson 1 Leadership in Modern Times Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses	聞くこと	a:日常的な事柄で、重要性・必要性・推量を伝える表現を理解している。 b:日常的な話題（現代社会でのリーダーシップ、世界の伝統家屋）について、必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題（現代社会において求められるリーダーシップ、世界の伝統家屋の特徴）について、様々な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a:英語の構文、未来完了形の使い方を理解している。 b:身近なトピック（現代社会でのリーダーシップ、世界の伝統家屋徴）についての英文を読んで概要を捉えている。 c:身近なトピック（現代社会において求められるリーダーシップ、世界の伝統家屋の特徴）についての英文を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （発表）	a:英語の構文、未来完了形の使い方を理解している。 b:身近なトピック（現代社会でのリーダーシップ、世界の伝統家屋）について、英語の構文、未来完了形を意識してメモを見ながらでも話している。 c:身近なトピック（現代社会でのリーダーシップ、世界の伝統家屋）について、英語の構文・未来完了形を意識してメモを見ながらでも主体的に話そうとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a:英語の構文、未来完了形の使い方を理解している。 b:身近なトピック（放課後、お気に入りの場所）について、英語の構文、未来完了形を意識して書いている。 c:身近なトピック（放課後、お気に入りの場所）について、英語の構文、未来完了形を意識して書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 (Writing)
	中間考査			
	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots Lesson 4 Approaches to Food Waste	聞くこと	a: 日常的な事柄で、希望・期待、傾向を伝える表現を理解している。 b: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、概要や要点を聞き取っている。 c: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、概要や要点を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: さまざまな受動態や完了形の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、話者の意図や要点を捉えている。 c: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、話者の意図や要点を捉えようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （やり取り）	a: 聞き直したり、相づちを打ったり、話を続けることができる。 b: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、簡単な語句や文を用いて情報の交換をしている。 c: 身近なトピック（アバターロボット、食品ロス）について、簡単な語句や文を用いて情報の交換をしようとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: さまざまな受動態や完了形の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（著名人へのインタビュー、飢餓）について、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピック（著名人へのインタビュー、飢餓）について、まとまりのある文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 (Writing)
	期末考査			
2学期	Lesson 5 Animals as Indispensable Partners Lesson 6 An Irish Poet on a Mission	聞くこと	a: 日常的な事柄で、利点・欠点、比較を伝える表現を理解している。 b: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、写真や手がかりなどがあれば聞き取ることができる。 c: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、写真や手がかりなどをもとに聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 分詞、関係副詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、概要や要点を文脈に沿って読み取ることができる。 c: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、概要や要点を文脈に沿って読み取ろうとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （発表）	a: 分詞、関係副詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、具体例を添えながら伝えることができる。 c: 身近なトピック（身近な動物、実在する詩人）について、具体例を添えながら伝えようとしている。	Performance Test (Speaking)

		書くこと	a: 分詞、関係副詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（動物ロボット、俳句や詩歌）について、つなぎの言葉を使いながら、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピック（動物ロボット、俳句や詩歌）について、つなぎの言葉を使いながら、まとまりのある文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 (Writing)
	中間考査			
	Lesson 7 Be Free from Gender Bias Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	聞くこと	a: 日常的な事柄で、条件・仮定、義務・必要性を伝える表現を理解している。 b: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、概要や要点を聞き取っている。 c: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、概要や要点を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 比較、提案や要求の表現の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、概要や要点を論理的に読み取ることができる。 c: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、概要や要点を論理的に読み取ろうとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （やり取り）	a: 比較、提案や要求の表現の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、自分の意見を幅広く伝えあっている。 c: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、自分の意見を幅広く伝え合おうとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: 比較、提案や要求の表現の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（男性/女性への偏見、難民保護に尽力した実在の人物）について、これまで学んだ文法事項を使って、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピックなど（アイスランドの男女の地位、難民の状況）について、これまで学んだ文法事項を使って、まとまりのある文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 (Writing)
	期末考査			
3 学期	Lesson 9 Tackling Global Warming Lesson 10 Keys to Finding Happiness	聞くこと	a: 地球温暖化や幸福度について事実や自分の考えを整理して聞き取る技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、概要や要点を論理的に整理しながら聞き取っている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、概要や要点を論理的に整理しながら聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 地球温暖化や幸福度について事実や自分の考えを整理して読み取る技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、概要や要点を論理的に読み取り整理することができる。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、概要や要点を論理的に読み取り整理しようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （発表）	a: 地球温暖化や幸福度について事実や自分の考えを整理して伝える技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、準備をした上で適切な語句や文を用いて、自分の意見を伝えている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、準備をした上で適切な語句や文を用いて、自分の意見を伝えようとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: 地球温暖化や幸福度について事実や自分の考えを整理して伝える技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（ジオエンジニアリング、幸せの概念）について、これまで学んだ文法事項使って、まとまりのある文章を書いている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（海面上昇のリスク、世界の幸福度調査）について、これまで学んだ文法事項使って、まとまりのある文章を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 (Writing)

	学年末考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度